

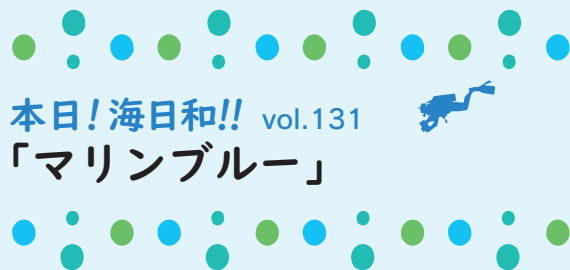
アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 — 学歴から見えるもの

学歴なんて関係ない。音楽をやってきた私はずっとそう思ってきた。それは私自身が学歴に影響されん環境で生きてきたから。鍼灸も実力社会で学歴は関係ない。ただ今後、事業を拡大したいという気持ちもあって、ある会社で人事を担当する方と話す機会をもらった。そこで私は軽い気持ちで学歴がどれほど採用に影響するのか尋ねた。答えは一言、"かなり"。私はどこかで学歴なんて参考程度、人間性重視だよってという言葉に期待しとったんかもしれん。なんや結局そうなんや…ちょっとシラけた私にその人は続けた。"学歴はその人の学生時代の努力の結果だよ"と。目から鱗が落ちた。私は高学歴じゃない。それは勉強に関して努力をしてこんかったから。自分で音楽の道を選んで続けてきたからそれを恥じることはないけど、学歴"なんて"とってたことを恥じた。

スポーツで結果を残した人、コンクールで賞を取った人、それと同じように努力の結果として学歴があるんやね。なんでもええから、小さくてもええから何かを残せたら、それを誇りに生きられる。努力すればその証は必ずあなたの中に残るよ。

(テノヒラkiku)



本日！海日和!! vol.131 「マリンブルー」

10月10日は、「目の愛護デー」だ。「10」と「10」を横にすると眉と目に見えることから定められたらしい。このコーナーでも、さまざまな魚の目を紹介してきたが、今回はヒオウギガイの目を紹介したい。

ヒオウギガイは愛南町の名産で、知らない人はいないだろう。バーベキューなどでもよく食べられるが、そもそも、目があるとは思っていない人がほとんどだろう。

ヒオウギガイが口を開けているところをよく見ると、青いビーズのようなものがいくつも並んでいる。何を隠そう、これがヒオウギガイの目である。目といっても、光を感じることができる程度のもので、景色が見えているわけではない。明暗を判断し、海の深さや海底の位置を知るのだろう。



【ヒオウギガイの目】

私たちは愛南の美しく青い海を見ていると、ブルーな心がいやされるが、ヒオウギガイはこんなにも美しい目になったのだろうか。

(撮影地：観音) 愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる